



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月6日

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3059 URL <https://company.hiraki.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 伊原 英二
問合せ先責任者（役職名） 取締役現業支援本部長（氏名） 姫尾 房寿 (TEL) (078)967-4601
半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 2024年12月3日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	6,545	△4.3	62	56.0	61	78.8	37	152.3
2024年3月期中間期	6,842	△5.9	39	△79.5	34	△84.4	15	△89.2

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 6百万円(△93.1%) 2024年3月期中間期 99百万円(△43.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	7.78	—
2024年3月期中間期	3.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	16,921	7,313	43.2
2024年3月期	16,263	7,355	45.2

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 7,313百万円 2024年3月期 7,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2025年3月期	—	10.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,900	4.4	150	—	150	—	100	—	20.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	5,155,600株	2024年3月期	5,155,600株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	288,193株	2024年3月期	288,193株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	4,867,407株	2024年3月期中間期	4,867,407株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、第2四半期 (中間期) 決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善し、緩やかに回復傾向にある一方、原材料価格の高騰や円安に伴う物価上昇の影響により消費マインドの低下が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは当期の基本戦略を「オリジナル商品の価値向上」とし、開発体制を強化するとともに商品力の強化を通して価格以上の価値をお客様にお届けすべく、顧客満足度の高い商品の提供を目指してまいりました。しかしながら、通信販売事業の売上が計画を下回った結果、当中間連結会計期間における連結売上高は、65億45百万円(前年同期比4.3%減)となりました。利益面は、専門店を主に店舗販売事業が堅調に推移したことおよび販管費の削減を図ったことにより、営業利益は62百万円(前年同期比56.0%増)、経常利益は61百万円(前年同期比78.8%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は37百万円(前年同期比152.3%増)となりました。

当社グループの報告セグメントの当中間連結会計期間における業績は、次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、商品面では受注喚起のため、靴・衣料・雑貨の各カテゴリーにおいて低価格帯の販売促進商品のほか、春夏・秋冬新商品を約600点投入しました。また、8月に付加価値を付けた高価格帯商品『手を使わずに履ける靴「SPO-ON(税込3,190円)」』を投入し、更なる受注喚起を図りました。販売促進面では、インスタグラム、Xを活用したインフルエンサーによる商品PR、タテ型動画広告の導入ならびに各種クーポン付与キャンペーン等を実施し、新規顧客の獲得・既存顧客の受注促進に努めました。8月投入の「SPO-ON」は好評を博し、2か月で1万足を超える受注を獲得、一部入荷待ちとなるなど販売計画を上回りました。一方、急激な円安の下、価格に相応する商品をお客様に明確に訴求できなかったことが影響し、受注件数は前年同期を下回りました。この結果、売上高は29億90百万円(前年同期比12.1%減)となりました。利益面は、経費の削減に努めましたが、減収の影響が大きくセグメント利益は1億38百万円(前年同期比18.4%減)となりました。

② 店舗販売事業

店舗販売事業におきましては、岩岡本店の食品館リニューアルを機に来店客数は増加基調で推移し、食品部門のみならず他の部門にも好影響をもたらしました。また、靴部門の売上高は、「SPO-ON」の販売が約1万足に達し、本商品の投入効果もあり靴専門店が大幅に伸長したほか、総合店においても堅調な伸びを示し、前年同期を大きく上回りました。加えて、粗利益率の高いオリジナル商品の売上高が増加し、売上総利益率のアップに寄与しました。この結果、売上高は34億39百万円(前年同期比3.5%増)となりました。利益面は、専門店の人件費および食品館リニューアルに係る経費は増加しましたが、増収および売上総利益率のアップにより、セグメント利益は1億17百万円(前年同期比68.6%増)となりました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、主力取引先に対してレインシューズ・カジュアルスニーカーを主に販売を伸ばしたほか、その他取引先の取扱店舗数の増加により商品の受注は堅調に推移し、前年同期を概ね確保した結果、売上高は1億16百万円(前年同期比3.3%減)となりました。利益面は、売上総利益率が改善し、セグメント利益は7百万円(前年同期は損失2百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況の分析)

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ6億80百万円増加し、114億13百万円となりました。これは、現金及び預金が9億66百万円増加し、売掛金が2億40百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ22百万円減少し、55億8百万円となりました。これは、有形固定資産が26百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ6億58百万円増加し、169億21百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ72百万円減少し、36億35百万円となりました。これは、その他の流動負債が3億13百万円減少し、1年内返済予定の長期借入金が1億23百万円、買掛金が88百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ7億72百万円増加し、59億72百万円となりました。これは、長期借入金が7億84百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ6億99百万円増加し、96億8百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ41百万円減少し、73億13百万円となりました。これは、その他の包括利益累計額が30百万円減少したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.0ポイント低下し、43.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ1億33百万円減少し、27億27百万円となりました。

当中間連結会計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2億37百万円(前年同期比79.6%減)となりました。これは主に、売上債権の減少額2億42百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、12億5百万円(前年同期比7.8%減)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出25億円、有形固定資産の取得による支出1億5百万円、定期預金の払戻による収入14億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、8億34百万円(前年同期比0.1%増)となりました。これは主に、長期借入れによる収入20億円、長期借入金の返済による支出10億92百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在の状況を踏まえ、2024年5月10日の決算短信にて発表しました2025年3月期の業績予測を見直した結果、当該中間期において2025年3月期の連結業績予想を修正しておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,790,598	7,757,467
売掛金	898,326	657,329
商品	2,849,203	2,872,393
未着商品	75,804	65,348
貯蔵品	11,985	10,590
その他	112,865	57,293
貸倒引当金	△6,319	△7,061
流動資産合計	10,732,463	11,413,362
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,888,397	1,838,653
土地	3,098,931	3,098,931
その他(純額)	154,395	178,004
有形固定資産合計	5,141,724	5,115,589
無形固定資産	72,496	62,362
投資その他の資産	316,955	330,333
固定資産合計	5,531,177	5,508,285
資産合計	16,263,641	16,921,647
負債の部		
流動負債		
買掛金	619,758	708,561
1年内返済予定の長期借入金	1,972,614	2,095,709
未払法人税等	12,940	39,780
賞与引当金	111,237	113,361
役員賞与引当金	-	2,500
契約負債	17,031	15,124
その他	974,576	660,733
流動負債合計	3,708,158	3,635,770
固定負債		
長期借入金	4,858,381	5,642,552
退職給付に係る負債	195,890	198,066
資産除去債務	52,783	52,125
その他	93,174	79,664
固定負債合計	5,200,229	5,972,408
負債合計	8,908,388	9,608,179

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	5,834,534	5,823,711
自己株式	△154,633	△154,633
株主資本合計	7,279,342	7,268,519
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,409	39,798
繰延ヘッジ損益	25,882	△3,864
為替換算調整勘定	12,618	9,013
その他の包括利益累計額合計	75,910	44,947
純資産合計	7,355,252	7,313,467
負債純資産合計	16,263,641	16,921,647

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	6,842,370	6,545,989
売上原価	3,708,456	3,572,011
売上総利益	3,133,914	2,973,977
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	853,796	723,738
貸倒引当金繰入額	1,582	4,034
給料手当及び賞与	848,450	856,070
賞与引当金繰入額	120,856	113,361
その他	1,269,422	1,214,693
販売費及び一般管理費合計	3,094,109	2,911,898
営業利益	39,804	62,078
営業外収益		
受取利息	3,380	4,194
受取配当金	1,211	1,412
受取補償金	11,302	6,183
受取手数料	7,053	4,415
その他	6,253	4,404
営業外収益合計	29,201	20,609
営業外費用		
支払利息	14,275	16,448
為替差損	20,200	4,703
その他	147	76
営業外費用合計	34,623	21,228
経常利益	34,382	61,460
税金等調整前中間純利益	34,382	61,460
法人税、住民税及び事業税	24,062	25,908
法人税等調整額	△4,682	△2,299
法人税等合計	19,380	23,609
中間純利益	15,002	37,851
親会社株主に帰属する中間純利益	15,002	37,851

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	15,002	37,851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,443	2,389
繰延ヘッジ損益	68,875	△29,747
為替換算調整勘定	△2,106	△3,604
その他の包括利益合計	84,213	△30,962
中間包括利益	99,215	6,889
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	99,215	6,889
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	34,382	61,460
減価償却費	149,675	143,398
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,825	741
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,871	2,124
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	3,750	2,500
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,355	2,176
受取利息及び受取配当金	△4,592	△5,606
支払利息	14,275	16,448
為替差損益(△は益)	△462	1,894
売上債権の増減額(△は増加)	268,041	242,685
棚卸資産の増減額(△は増加)	507,534	△11,339
仕入債務の増減額(△は減少)	△97,152	86,579
契約負債の増減額(△は減少)	△343	△1,906
その他	258,157	△305,829
小計	1,148,668	235,327
利息及び配当金の受取額	4,911	5,130
利息の支払額	△14,665	△17,295
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	25,826	14,011
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,164,741	237,174
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,300,000	△2,500,000
定期預金の払戻による収入	-	1,400,000
有形固定資産の取得による支出	△4,635	△105,538
有形固定資産の売却による収入	63	-
投資有価証券の取得による支出	△250	△301
その他	△1,855	555
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,306,677	△1,205,285
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,000,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,095,585	△1,092,734
配当金の支払額	△48,670	△48,668
その他	△22,492	△24,375
財務活動によるキャッシュ・フロー	833,251	834,222
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,266	756
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	692,583	△133,131
現金及び現金同等物の期首残高	2,628,799	2,860,598
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,321,382	2,727,467

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,399,887	3,322,138	120,344	6,842,370	—	6,842,370
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,399,887	3,322,138	120,344	6,842,370	—	6,842,370
セグメント利益又は損失(△)	170,145	69,496	△2,031	237,609	△197,804	39,804

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△197,804千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 当社グループの売上高は、受取家賃19,966千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,990,074	3,439,598	116,315	6,545,989	—	6,545,989
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,990,074	3,439,598	116,315	6,545,989	—	6,545,989
セグメント利益	138,891	117,153	7,096	263,141	△201,062	62,078

(注) 1 セグメント利益の調整額△201,062千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 当社グループの売上高は、受取家賃19,135千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。